

資生堂

フィリピンで合弁会社を設立
プレステージ・フレグランス事業統合し
マーケティング投資を加速

資生堂は、フィリピンにおける化粧品事業を強化すべく、合弁会社「Shiseido Philippines Corporation（資生堂フィリピン）」を設立する。同社の100%子会社でアジアを統括する資生堂アジアパシフィックと、シンガポールに本社を置き、アジアで化粧品代理店などを展開するLUXASIA社との間で合弁契約を調印した。新会社によるオペレーションは2019年7月より開始し、出資比率は資生堂アジアパシフィックが過半を占める。

フィリピンでは現在、目指す。販売代理店が2社にわたっているが、今後は新会社である資生堂フィリピン020」において、「プレステージファースト戦略」のもと、強みである投資を加速し売上拡大を「プレステージ領域を第一、ポテンシャルの高い

優先としたマーケティングを行い世界各地で成長を目指している。

経済成長著しい東南アジアにおいて、1億人以上の人口を有し、若年層が多く、化粧品市場規模が東南アジアで3番目に大きいフィリピン（約30億ドル、同社推計）では、プレステージ市場が2020年まで2ケタ成長が

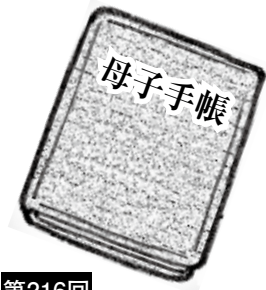
続くと予想されており、特にメークアップカテゴリが著しい伸長を見せている。

35種類の美容成分配合のオールインワンマスク

クオリティファーストが販売している「フェイスバック・オールインワンシートマスクEX」の発売開始は2012年5月まで遡るが、2017年6月に大容量の「パック・フェイスマスクランキング」を取り出しやすいフタ付きボックスに変更し、

2018年10月に大容量タイプの価格を1900円から1500円に下げたことで売上が大きく飛躍したという。交通広告やTVCMなどの宣伝戦略も、認知度・売上の拡大に寄与している。

母子手帳



第216回

「フェイスバック・オールインワンシートマスクEX」クオリティファースト

同商品は、化粧水、美容液、乳液の3役をこなすオールインワンタイプのシートマスクで、1枚で手入れが完了するシンプルなスキンケアを叶える。ヒアルロン酸やベビーコラーゲンなどの保湿成分を中心に、35種類も



シート加工で接着剤を使用しないため肌触りが良く、美容液がたっぷり染みこむよう、従来よりも約30%厚くしたマスクに仕上げている。新規ユーザーの獲得に向けては、女性が多く集まるイベントなどでサンプリングを行っている。実際に使用すればアイテムの品質を実感することができるため、サンプルから本品に移行するユーザーも多い。

「当社は、質の高い商品に集中特化する」としてお客様のニーズに添えている。質の高さが認められ、アイテムの種類を増やして欲しいという声も多いため、来春には新シリーズの発売を計画している（同社）

マークレイ氏をチーフ・グロース・オフィサーに任命

資生堂

資生堂は2019年1月1日付で、資生堂アメリカズ社長CEOのマークレイ氏を、新設するChief Growth Officer（チーフ・グロース・オフィサー）に任命することを発表した。今後、チーフ・グロース・オフィサーとして、資生堂グループがグローバルビューティー市場で成長を続けるため、新たなビジネスモデルを開拓するとともにグループ全体の成長戦略を推進する。

具体的にはこれまで通メイクアップブランドの「barMineral」、資生堂アメリカズ社長CEOとして米州地域ビジネスに責任を負い、グローバルプレステージのブランドホルダー、Mercedes Technology Ac

の美容成分を贅沢に配合しており、しっとりとうるおった弾力のある肌へと導く。さらに、数種類の保湿成分の混合比率や配合のタイミングを研究することで、防腐剤を使用せずとも最大限の抗菌作用を引き出すことができる独自の技術

を採用している。防腐剤を添加しないことで肌への刺激を減らし、敏感肌の人でも安心して使用することができ

シートそのものにもこだわりを持っており、水の力のみで織り上げた100%日本製コットンを使用している。シ

▽事業内容「フィリピンにおける資生堂グループ商品の輸入・マーケティング・卸販売」▽資本金5億8000万フィリピンペソ▽設立年月「2018年12月（予定）」▽出資の状況「同社100%子会社資生堂アジアパシフィックが過半を出資。

celebration HubとグローバルM&Aチームを統括する。

資生堂グループのサステナブルな成長に貢献する目的で新設するTechnology Acceleration Hubは、消費者に新しい体験や価値を提供する革新的なビジネスモデルの開発を推進する。DreamWorks Animation社でデジタル戦略と新規事業開発担当のエクゼクティブ・バイス・プレジデントを務めたジム・メイナード氏が11月12日付でTechnology Acceleration Hubのプレジデントに就任し、化粧品部の枠を超えて技術革新を推し進めている。

また、今後の成長戦略に不可欠なM&Aは、資生堂アメリカズCFOのロンジー氏が、様々なカテゴリーのM&Aを担当するグローバルM&Aチームを統括し、本社のM&Aチームと連携しながら新価値創造に貢献していく。